

R4 年度香川大学との連携について（具体案）

R4. 4. 10 運①

1 連携の目的

- ・大学の人的、社会的資源等を活かし、支部活動の充実及び運営推進を図る。
- ・学生との交流等を通して、ALS 患者の対人的かかわりを広げ QOL の向上を図る。
- ・医療従事者をめざす看護学科学生等の ALS への理解と資質の向上を図る。

2 本年度の取り組み

(1) 茶話会について

- ・看護学科の Zoom（ホスト役も依頼）を使用させていただき、年 4 回開催する。

第 1 回茶話会 7/24（日） 13:30～14:30 ※ [7/17（日） 13:30～]

第 2 回茶話会 9/11（日） 13:30～14:30 ※ [9/4（日） 13:30～]

第 3 回茶話会 12/11（日） 13:30～14:30 ※ [12/4（日） 13:30～]

第 4 回茶話会 3/12（日） 13:30～14:30 ※ [3/5（日） 13:30～]

※印はテスト通信日。テスト通信は初参加者で希望がある場合にのみ開催。

- ・各回の実施計画は約 1 か月前に大学担当者（清水先生）に提出する。
- ・会場と Zoom を併用して参加ができるように支部と大学との協力体制を整える。
- ・各回の学生参加数は 5～6 人が適数だが、人数調整は学生に任せる。
- ・学生は予め質問をまとめておき、感想を後日提出いただく。支部だよりに掲載。

(2) 支部総会や研修会等について

- ・会場開催の場合は、香大の学生に運営協力をお願いする。

6/12（日）支部総会・研修会 学生 5～8 人程度（会場準備、受付、駐車場等）

11/?（日）支部研修会 or 講演会 学生 5 人程度（会場準備、受付、駐車場等）

※オンライン開催（併用も）の場合は、オブザーバーに運営協力をお願いする。

(3) 訪問ボランティアについて

- ・コロナ感染が落ち着いた段階で、実施について大学担当者と相談し決定する。
- ・訪問ボランティアは在宅患者を対象とする。
- ・在宅患者と学生とのリモート交流については、当分の間中止する。

(4) 文字盤講習について

- ・今後、大学担当者と相談しながら進める。

3 高松医療センターでのミニコンサート

○ 学生サークルへの演奏依頼の手順について

5～6 月 事務局は説明用チラシを作成し、大学担当者と打ち合わせる。

7～9月 大学担当者にサークル担当学生と話し合える機会を設定していただく。

※学生との話し合いの期日は夏休み中を希望。

※継続的にいろいろなサークルに依頼できる道筋を作っておきたい。

※学生との話し合いは事務局とミニコンサート担当者が参加する。

R5. 3～4月 令和5年度に演奏いただけるサークル担当者に連絡を入れる。

※令和5年3月中に高松医療センターの受け入れ可否について確認

5～6月 受け入れが可能な場合は、演奏サークル担当者に実施計画を提示

7～9月 高松医療センターでミニコンサート開催

○ 学生サークルへの打診内容等について

- ・目的 生の演奏等を楽しむ機会とする。
- ・日時 夏休み中（7～9月）の水曜日、15:00～16:00 ごろ
※病院側の希望として3病棟・5病棟の演奏日を分けてほしいが可能か？
- ・場所 高松医療センター 3病棟・5病棟のロビー
- ・対象 3病棟・5病棟のALS入院患者（一部ロビーで、大半は病室で鑑賞）
- ・曲目 唱歌、童謡、懐メロ等、20～30分程度の演奏
- ・演奏 演奏者の人数は4～8人程度まで、弦楽器、管楽器、コーラス等を希望
- ・準備 音響機器はなし。挨拶用マイクは準備可
- ・評価 参加学生に感想等をいただき支部だよりに掲載
- ・記録 支部だより、HP掲載用の写真、動画撮影等の許可

※在宅患者宅での訪問演奏については、演奏希望等を把握してから検討する。